

令和2年度 事業目標と結果 (事業所名：法人本部)

(全体総括)

<ul style="list-style-type: none"> ・法人内ルールの確定や法人が求める人材像については、新人事制度に基づき4月から新しい賃金規程による給与支給が予定されており、新しい制度による運用が始まったところである。 ・内部監査の実施については、ほぼ計画通り進められており、指摘状況の改善も適宜に実施され、新型コロナウイルスの感染対策の中にあっても継続した文書整備状況の確認が必要である。 ・経営分析による収支の向上については、人事配置と人件費の確認を人事課・ブランディング推進室で確認をする体制を整備した。 ・地域食堂の開設については、新型コロナウイルスの影響もあり営業を取りやめ、法人内職員をターゲットとした総菜販売を実施した。 ・かおる園プライバシー改修に係る事業申請については令和3年度実施に向け、3月末に計画書の提出を行った。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・法人のルールが確定できていないことや、経験の浅い管理者に対しわかりやすいルール整備ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更新や作成がされていない規定の確認と作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・未更新及び未作成規定の整備(別記) 	<ul style="list-style-type: none"> ・賃金規程の完成(正規職員、パート職員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の作成
	<ul style="list-style-type: none"> ・内部監査実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全事業所で内部監査での自己点検項目及び重点項目での指摘事項が無い。 	<ul style="list-style-type: none"> 1事業で内部監査による文書整備状況を確認した 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染予防からか、令和2年度については実地指導は法人内全事業所で行われなかった。コロナ禍の状況に変わりはないが、令和3年度中の実地指導受入れに向けた文書整備状況確認は継続する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 法人(本部、事業所)が求めている人材像が明確になっていないため、採用と育成のルールが整備できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人が求める具体的な人材像を見える化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが見てわかる採用と育成の基準を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新人事制度策定に向けて、人事コンサルティングを導入し、資格等級制度(キャリアパスフレーム)を整備した ・採用基準については整備できなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・人事評価制度を導入し、職員の成長につなげる ・評価制度に沿った育成計画を作成する。 ・採用基準と採用計画を作成する
<ul style="list-style-type: none"> ・経営分析が活かされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定運営につなげる事業結果の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・分析結果の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期の予実の他に、月の初めに予実がわかるように、依頼があった事業所の予実作成をした 	<ul style="list-style-type: none"> ・予実が事業所の経営に効果的であるかを分析する
	<ul style="list-style-type: none"> ・経営分析による経営戦略の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・収支差額について全事業所がR1年度より向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人事配置と人件費の確認を人事課・ブランディング推進室で確認をする体制を整備した 	<ul style="list-style-type: none"> ・収支差額がMP値に満たない事業所を中心に、分析し対策をとる
<ul style="list-style-type: none"> 地域の改善すべき問題点への貢献が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の改善すべき問題点に対する事業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業運営(食堂など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響もあり、職員への総菜販売にとどまってしまう、地域食堂の開設が出来なかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題・問題を洗い出す
<ul style="list-style-type: none"> 職員・外部向けの事業所情報が発信されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内事業所への理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人満足度調査結果の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の発行は1回実施した 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向けの満足度向上方法を考える
	<ul style="list-style-type: none"> ・明和会に対する理解と興味関心 	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者数の向上 ・ボランティア数及び寄付件数の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSに関しては、掲載が出来ていたが、ホームページのリニューアルまでは出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアルに向けて取り組む
<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進んでいるが改修計画が作成されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の施設改修計画作成と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・かおる園プライバシー改修に係る補助金申請 ・法人全体の設備投資計画の完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・かおる園プライバシー改修に係る補助金申請済 ・法人全体の設備投資計画は未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・かおる園プライバシー改修工事の実施 ・法人全体の設備投資計画の作成、完成

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
経営会議	R3.1.29	理事長、課長職（5名）、管理者職（11名）、主任（1名）アシスタント（1名）	採算表とアクションプランの説明と確認 ・Zoomでの開催
経営会議	R3.2.26	理事長、課長職（5名）、管理者職（11名）、主任（1名）アシスタント（1名）	採算表とアクションプランの説明と確認 ・Zoomでの開催
経営会議	R3.3.29	理事長、課長職（5名）、管理者職（12名）、主任（1名）アシスタント（1名）	採算表とアクションプランの説明と確認 ・Zoomでの開催
部門会議（ブランディング推進室会議）	R3.1.18	土岐・本間・菊地	本部アクションプランに関する課内協議
部門会議（ブランディング推進室会議）	R3.2.9	土岐・本間・菊地・寺下・笹原	本部アクションプランに関する課内協議
部門会議（ブランディング推進室会議）	R3.3.16	土岐・本間・菊地・寺下・笹原	本部アクションプランに関する課内協議
アマーバプロジェクト会議	R3.1.12	理事長・土岐・旭・長田・古島・高橋・菊地	・部門会議の動画配信について ・経営会議2部の進め方 ・その他
アマーバプロジェクト会議	R3.2.10	理事長・土岐・旭・長田・古島・高橋・菊地	・部門会議の動画配信について ・経営会議3部の進め方 ・その他
アマーバプロジェクト会議	R3.3.17	理事長・土岐・旭・長田・古島・高橋・菊地	・令和3年度のアマーバプロジェクトの反省 ・次年度のアマーバプロジェクトメンバーを決める ・アマーバ育成メンバーを決める
部門会議	R3.2.11	安藤・小池・堀川	本部アクションプランに関する課内協議
部門会議（総務課会議）	R3.1.13 R3.2.17 R3.3.19	八木、田中、辻村、飛渡	本部アクションプランに関する課内協議
部門会議（総務課会議）	R3.1.18 R3.2.22	八木、田中、辻村、飛渡	次月予定確認
人事課会議 部門会議	R3.1.18 R3.2.22 R3.3.17	安藤・小池・堀川	採用に関する業務 教育に関する業務 給与・賞与・処遇改善に関する業務 社会保険・労働保険に関する業務 本部アクションプランに関する課内協議 人事課特別事業・その他全体業務
運営管理室会議	R3.1.12	運営管理室長、係員	前月の反省と当月の計画及び本部部門ミーティングへ向けた協議
運営管理室会議	R3.2.10	運営管理室長、係員	前月の反省と当月の計画及び本部部門ミーティングへ向けた協議
運営管理室会議	R3.3.18	運営管理室長、係員	前月の反省と当月の計画及び本部部門ミーティングへ向けた協議

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
フィロソフィプロジェクトミーティング	R3.1.21	理事長・事務局3名・プロジェクトメンバー12名	明和会フィロソフィ解説文・エピソード作成
フィロソフィプロジェクトミーティング	R3.2.12	理事長・事務局3名・プロジェクトメンバー12名	フィロソフィミーティング振り返り 章構成振り分け
フィロソフィプロジェクトミーティング	R3.3.11 R3.3.12	理事長・事務局3名・プロジェクトメンバー11名	フィロソフィ項目及び解説文決定

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
第5回明和会事故再発防止委員会 テレビ会議 (Zoom)	R3.1.6 (水)	委員10名,管理者参加4名,欠席1名,運営管理室2名	①前回委員会の振返り ②R2.11・12月中のインシデント及び事故状況報告及び再発防止策の検証 ③事故報告書の提出状況確認
第4回明和会感染症・衛生管理委員会 テレビ会議 (Zoom)	R3.2.3 (水)	委員10名,欠席1名,運営管理室2名	①前回委員会の振返り ②各事業所衛生用品再確認結果 ③新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ感染予防の現況 ④今年度の委員会活動反省
第5回明和会災害対策委員会 テレビ会議 (Zoom)	R3.2.24 (水)	委員9名,欠席2名,運営管理室2名	①前回委員会の振返り ②災害備蓄品一覧表の再確認結果 ③各事業所BCP更新状況 ④今年度の委員会活動反省
第6回明和会事故再発防止委員会 テレビ会議 (Zoom)	R3.3.3 (水)	委員9名,管理者参加2名,欠席2名,運営管理室2名	①前回委員会の振返り ②R3.1・2月中のインシデント及び事故状況報告及び再発防止策の検証 ③事故報告書の提出状況確認 ④今年度の委員会活動反省

第三者委員会

対象事業所	実施日	参加者	指摘事項
第4回明和会第三者委員会 テレビ会議 (Zoom)	R3.1.28 (木)	第三者委員名,事業所職員名,欠席名,管理者名,運営管理室2名	①各第三者委員等紹介 ②法人内事業所における苦情等情報共有及び検証 ③今年度における第三者委員会の検討事項

預り金管理状況確認

対象事業所	実施日	参加者	指摘事項
特別養護老人ホーム かおる園	R3.1.18 (月) am	かおる園相談員 運営管理室 税理士法人エルム パートナーズ	預り金については規定通り運用されておりました。通帳は50音順に揃えられており、システムへの入力も適時問題なく行われております。入居者についてもそれぞれファイルで管理がされておりました。退居者への返却資料につきまして、介護保険証の番号が一部相違しているものがあり、金銭受領などは係らない部分ですがご注意ください。今回は委任支払いの請求書内容と引き落とし金額についてを中心に監査を行いました。内容については不備なく問題ありません。作業手順についても請求内容をエクセルに集計して、それを入力者、主任、施設長の三段階でチェックをしておりますミス防止ができています。ただ、現状の手順では時間が多くとられるのではないかと考えられますので、今後は請求書発行側にエクセル当のデータで請求内容をもたえられないか等の働きかけを行うと良いと思います。
共同生活援助事業所 ホームピンネ	R3.1.18 (月) pm	ホームピンネ利用者預り金担当 運営管理室 税理士法人エルム パートナーズ	以前より指摘があります金庫の管理についてですが、事務所の鍵のナンバーがわかる人は3名で、職員2名が二つある金庫の一つの鍵を所有しており、もう一つの鍵は管理者が所有する形になりました。そのため最低でも2名が揃わないと印鑑通帳を出せない状態となり、1名だけで持ち出すことはできなくなりました。その他項目については問題ありませんでした。

外部監査

外部監査名	開催日	参加者	指摘事項
第10回明和会外部監査 対象事業所：ホームピンネ	R3.1.27 (水)	坂本税理士,旭管理者,運営管理室2名	別添のとおり
第11回明和会外部監査 対象事業所：きつずでいここ	R3.3.10 (水) 2月実施分	坂本税理士,古島管理者,運営管理室2名	別添のとおり
第12回明和会外部監査 対象事業所：デイサービスセンターかおる園	R3.3.22 (月)	坂本税理士,高橋管理者,運営管理室2名	別添のとおり

監事監査

委員会名	開催日	参加者	主な議題
令和2年度 第3四半期事業所運営状況監査 対象事業所：かおる園特養/生活介護事業所ひかり	R3.2.4 (木) am/pm	村中監事,上郡施設長・河村管理者/長田管理者,運営管理室2名	テレビ会議 (Zoom) を利用し、各事業所における運営状況を北海道の自己点検表に基づき質問を監事より行う。
令和2年度 第3四半期事業所運営状況監査 対象事業所：ここ/デイサービスセンターかおる園	R3.2.8 (月) am/pm	前田監事,古島管理者/高橋管理者,運営管理室2名	テレビ会議 (Zoom) を利用し、各事業所における運営状況を北海道の自己点検表に基づき質問を監事より行う。
令和2年度 第3四半期監事監査 (定期監査)	R3.2.18 (火)	監事2名,理事長,常務理事,課長職2名 (総務/運営管理),運営管理室1名	①令和2年度第3四半期事業計画及び会計決算報告に係る質疑 ②明和会事業所運営状況確認報告 ③法人業務及び会計業務に関する質疑 ④他 (利用者預り金監査報告)

内部監査

実施事業所	実施日	参加者	状況
居宅介護支援事業所 虹	R3.1.20 (水) pm	古島管理者,鈴木主任,運営管理室2名	モニタリング及び支援記録等の整備状況確認

○共同生活援助事業所ホームピンネ（1/27実施分）

1) 車両借り上げ規定どおりの運用がされておりません。自動車保険の加入や運転免許証の更新期限など、重要な管理を怠ると、法人に多大な損害が及ぶ可能性があります。

2) 施設の採算を重視するあまり、危険（高所など）な管理作業を職員が行うケースがあるようです。施設によって危険な作業の有無、程度も様々だと思いますので、施設ごとに職員自ら行う作業を定めたほうが良いと思います。危険な作業で事故等が発生すると法人に安全配慮義務違反による損害賠償義務が生ずることも考えられます。

3) 施設で必要とする業務契約は本部で管理し、一部の契約は施設でも把握しているようですが、適正な契約の履行を確保するためにも一覧表を作成し、本部と各施設で共有するようご検討ください。

4) 以前にも指摘しましたが、自衛消防組織編成表に担当職員名が記載されたものが無く、職員の皆さんにも周知されておりません。名前入りのものを作成し、特に人事異動の際は周知徹底を行ってください。

○放課後等デイサービスセンター きっずでい ここ（3/10実施分）

1) 法人のタブレットから利用者の保護者にLINEで連絡を取っております。法人のタブレットのみ、かつ勤務時間内での連絡であり、業務として問題はありません。管理も利用者個人ごとのフォルダに時系列で保管されており、モニタリング会議、個別支援計画作成に有用と思われます。保護者の皆さんからも大変好評をいただいているようで、良い取り組みとしますので、以下の点についてご検討ください。

①担当の職員に負荷がかかっており、かつ、その職員さんがいないと運営が難しいようですので、チーム編成などして、個人に頼りすぎない仕組みにすべきと思います。

②保護者には好評ですが、過剰なサービスに近いと思われます。現在は、動画を視聴するのみで、データの提供はしておりませんが、データ提供の希望が多いそうです。卒園アルバムのような形で商品化できる可能性があると思います。

2) 法人全体として、新人職員向けの動画なども作成していけば、支援や介護知識の習得に活用でき、また採用活動などにも利用できると思われます。

○デイサービスセンターかおる園（3/22実施分）

1) コロナ禍で、一般的にデイサービスの利用が落ち込む中、稼働率90%程を確保しており優良な実績で推移しております。KPIを定めて、具体的数字を追いかけている点もその一因と思われます。

KPIの設定も、上手くできていると思いますが、以下の視点を追加するとより良くなると思われます。

①利用者の単純平均介護度の視点に加え、延べ利用者の平均介護度の視点を入れると現場の稼働状況や負担感、収益との関連性が見えてくると思われます。

②振替・追加人数の絶対数をKPIとしていますが、キャンセル数に対する割合（カバー率）が重要と思われます。

③30日間のショートステイ期間中に「より元気にして返す」ことを目標としているとのことですので、利用開始時から退所までに、歩ける距離の増加、起きている時間の増加などのKPIを設定し、PDCAを回していけば、施設の業務品質の裏付けとPR材料になると思われます。

2) 施設屋根より雨漏りがしており、天井に水が浸透しております。昨年の初冬からとのことですが、早急に応急処置又は、抜本的修繕をご検討ください。

3) 水曜日の利用率が、極端に低く、様々模索しているようですが、何が功を奏するか分かりません。まずは、低利用日への振替えを、単純・ストレートに利用者にお問い合わせすることも必要と思われます。

4) 自衛防災訓練で、ミャンマーの実習生が消火器を適正に扱えなかったとの反省点がありました。反省会は実施したとのことですが、4名の実習生について確実に操作できるようになっているかどうか確認をしてください。

(全体総括)

今年度において、稼働は平均で約94%と前年度よりも上昇しているが、目標数値には届いていない。前年度に比べ稼働が良かった原因の一つとして夏場の稼働の落ち込みが少なかったことがあり、水分量の十分な確保を意識して実行できたことが要因であると考えられる。一方で稼働が目標に届かなかった原因としては、様々な要因での入院もあるが、前年度同様に退所者が増えてきていることが考えられる。入所待機者は年々少しずつ減少しているため、今後は待機者の確保、入院の予防を同時に行っていくことが重要と考えられる。来年度は、自立支援研究室という新たな部署と連携しながらかおる園のサービスの質をさらに高めていく。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
安定した収入が維持できる。	稼働率を向上させる。	入院と空所併せて延べ100床以下	1月 入院者延べ 107 空床延べ 49 2月 入院延べ 89 空床延べ 30 3月 入院延べ 109 空床延べ 80	前年度よりも稼働は上がっているが、今後も待機者が急増していくことは考えにくい。現在の利用者の健康維持が重要と考える。自立支援研究室と連携し、元気な利用者が積極的に過ごせるかおる園を目指していくことで、入院者の減少を図っていく。
	収支の増加を図る。	新規加算を取得する。	加算取得のため、協力病院の医師と打合せを行ってきたが、年度末で空知中央病院との契約が終了となり、新しい協力医と再度打ち合わせが必要となった。	2021年度の新たな加算の取得のため、新しい協力医と連携していく ※新たな加算には医師の意見をもらう必要がある者が多いため
利用者の生活レベルを維持向上できる、質の高いサービスを提供する。 ※生活レベル＝行動範囲、食事形態、排せつ環境、コミュニケーションなど	職員の育成	人材評価リーダー相当8名	次年度に向けて、各副主任（2021年度の主任）に管理者や主任の役割を分散し、一人一人に新主任の自覚を持ってもらえるようにすすめている。	次年度もリーダーの育成を継続的に行っていく
	利用者が役割を持って生活する。	全利用者が役割を持つ。	数人の利用者に管内の換気や給食の献立などの放送を行ってもらう役割を持ってもらった。これにより、行っている利用者が、自信を持つことができ、表情が明るくなっている。	左記のように、利用者が自信を取り戻し、生きがいとなるような役割の提供を次年度も行っていく

【運営報告】

事業所名： 特別養護老人ホームかおる園

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	2,800	3,100	3,042
延利用人数	R1	2,774	2,956	2,902	2,937	2,757	2,708	2,880	2,712	2,815	2,783	2,649	2,886	2,813
	R2	2,811	2,856	2,874	2,976	2,942	2,897	2,980	2,801	2,851	2,882	2,685	2,911	2,872
稼働率	R1	92.5%	95.4%	96.7%	94.7%	88.9%	90.3%	92.9%	90.4%	90.8%	89.8%	94.6%	93.1%	92.5%
	R2	93.7%	92.1%	95.8%	96.0%	94.9%	96.6%	96.1%	93.4%	92.0%	93.0%	95.9%	93.9%	94.4%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	29,648	31,346	30,754	31,012	29,392	28,696	31,221	30,071	30,801	30,124	29,046	31,274	30,282
	R2	31,126	32,078	32,203	32,622	32,170	31,417	37,092	30,799	32,199	31,266	28,208	28,330	31,626
当期資金収支差額 (単位：千円)		4,270	4,166	-6,193	1,844	3,477	4,359	9,375	-3,140	-11,855	-948	-1,827	-35,357	-2,652
職員数	正規	40	41	41	41	41	41	40	41	41	41	41	40	40.8
	有期	15	10	10	10	10	10	9	10	10	10	10	10	10.3
	パート	11	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14.7

令和2年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：特別養護老人ホームかおる園

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
かおる園職員会議	R3.1.6	河村管理者、高橋管理者、楠主任、平主任、上郡施設長	①デイサービス稼働率報告と今後の対応 ②ショートステイ稼働率報告と今後の対応 ③特養稼働率報告と今後の対応（入院者の状況含む） ④1月の予定 ⑤2月の予定 ⑥職員関係 ⑦清掃員の体調について
かおる園職員会議	R3.2.4	河村管理者、高橋管理者、楠主任、平主任、上郡施設長	①デイサービス稼働率報告と今後の対応 ②ショートステイ稼働率報告と今後の対応 ③特養稼働率報告と今後の対応（入院者の状況含む） ④2月の予定 ⑤3月の予定 ⑥職員関係 ⑦その他
かおる園職員会議	R3.3.3	河村管理者、高橋管理者、楠主任、平主任、上郡施設長	①デイサービス稼働率報告と今後の対応 ②ショートステイ稼働率報告と今後の対応 ③特養稼働率報告と今後の対応（入院者の状況含む） ④職員関係・令和3年度に向けて ⑤3月の予定 ⑥技能実習生予定について
職員会議	R3.1.19	河村管理者、高橋管理者、楠主任、平主任、今泉副主任、滝澤副主任、大路副主任、辻副主任、上郡施設長	①アメーバアクションプランについて ②時間最短、経費最小、利益最大に向けた各フロアの取り組み 1.経費削減のために、紙ベースの記録をなくしiPadを使用していく。 2.コスト削減として、紙パンツの使用と夜間の尿失禁への対応について検討する。
職員会議	R3.2.16	河村管理者、高橋管理者、楠主任、平主任、今泉副主任、滝澤副主任、大路副主任、辻副主任、上郡施設長	①アメーバアクションプランについて ②前月の反省 ③時間最短、経費最小、利益最大に向けた各フロアの取り組み ○入院者を減らす。 1.入院にいたらないように、食事量の低下している利用者さま、内服が難しい利用者さま、について看護師と情報共有して対策を行う
職員会議	R3.3.16	河村管理者、高橋管理者、楠主任、平主任、今泉副主任、滝澤副主任、大路副主任、辻副主任、上郡施設長	①アメーバアクションプランについて 1、時間最短、経費最小、利益最大に向けた各フロアの取り組み ○換気や献立の放送をしている利用者さまの心境の変化について、喜んでいる方もいて、表情も良くなっている。 ○全体的に課題がクリアできていない部分があるのが気になる。 ⇒ヒヤリハットや事故の再発防止策について、その時の物だけではなく過去のものを見直す必要もある。これまでにどのような対策がされていたのか確認する必要あり。 ⇒食事に関してもいろいろなものを取り入れて、健康増進と食事の楽しみが増えるようにしていきたい。 ○排泄記録のペーパーレス化（4月中に実施） ⇒2フロアはタブレット入力に変更したが、排便間隔の記録はまだ使用している。それ以外のフロアはまだ手書き記録表で実施。記録を入力することが二度手間になってしまうので、今後記録方法を変更していく。

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
業務改善会議	R3.1.5	河村管理者、楠主任、今泉副主任、滝澤副主任、大路副主任、辻副主任、上郡施設長	①職員の言葉使いについて ②コロナ感染症対策について ③技能実習生の対応について ④ランタン祭について ⑤今後のオムツ会社の検討 ⑥iPodの使用について
業務改善会議	R3.1.13	河村管理者、楠主任、今泉副主任、滝澤副主任、大路副主任、辻副主任、上郡施設長	①苦情について ②2月の勤務表について ③稼働率について ④居室の見直し ⑤時間外申請書について
業務改善会議	R3.1.20	河村管理者、楠主任、今泉副主任、滝澤副主任、大路副主任、辻副主任、上郡施設長	①居室移動について ②職員事業所異動希望調査について ③来月行事について ④通院時の決まり事 ⑤破損物品の確認 ⑥5s 物品整理
業務改善会議	R3.1.27	河村管理者、楠主任、今泉副主任、滝澤副主任、大路副主任、辻副主任、上郡施設長	①夜勤帯の巡回についてマニュアルを作成する。 ②車いす・歩行器の点検日と点検内容について ③居室カーテンの清掃について ④利用者さまの対応表について ⑤看護会議の参加について ⑥オムツの発注方法の変更 ⑦各フロア職員面談状況について確認
業務改善会議	R3.2.17	河村管理者、楠主任、今泉副主任、滝澤副主任、大路副主任、辻副主任、上郡施設長	①リフレのオムツについて ②新規利用者について ③清掃員会議について
業務改善会議	R3.2.24	河村管理者、楠主任、今泉副主任、滝澤副主任、大路副主任、辻副主任、上郡施設長	①服薬について ②排泄研修について ③職員の移動について ④居室移動について ⑤コロナ禍通院について ⑥ショートステイ業務改善と課題
業務改善会議	R3.3.10	河村管理者、楠主任、今泉副主任、滝澤副主任、大路副主任、辻副主任、上郡施設長	①ショートステイの入浴について ②フロア内職員移動について ③コロナ感染症対策⇒職員の行動・正しい知識・職場のルールの確認
看護会議	R3.1.15	高橋管理者、西垣看護職員、北看護職員、高橋ヒロ子看護職員、宮ノ原看護師	①ショートステイの薬について ②入浴日の血圧測定について ③定期薬・臨時薬、多科薬のセットの手順について ④下剤・解熱剤の使用について
補助員・夜警会議	R3.1.15	楠主任・斎藤夜警員 野口夜警員	①資源ごみ ②浴室すのこ清掃 ③浴室の蛍光灯交換について ④食堂カーテン清掃
清掃員会議	R3.1.20	當瀬・杉原・高橋・武蔵・楠主任	①1・2月の勤務について ②施設内の清掃状況について ③ゴミ出しについて ④清掃員のミーティング参加について

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
1フロア会議	R3.1.18	今泉副主任・丹介 護員・山下介護 員・小暮介護員	①12月稼働率 ・入院の原因と再発について ②前回の取り組みと反省 ・手指消毒～おやつ時の消毒が出来ていない ・陰部洗浄について表の作成と手順の確認 ③事故防止について ・危険予測マニュアルの作成 ・ヒヤリハットは対策も周知する ④業務改善 ・技能実習生カイン職員～業務を着実に覚えてきてい る、勤務時間も様々組めるようになり他職員の業務軽減 や残業の軽減につながる。 ⑤経費削減 ・iPadの活用しペーパーレス ・こまめな消灯 ・おむつを減らす
1フロア会議	R3.2.12	今泉副主任・丹介 護員・宮ノ原 CM・山下介護 員・小暮介護員・ 宮脇介護員	①1月稼働率 ・2名退所 ・2名入所 ②前回の取り組みと反省 ・危険予測マニュアルの配布 ③今月の取り組み ・入院者を出さないようにしていく ・皮膚トラブル対策 ・風邪、感染症の予防 ⑤感染症予防 ・手洗いは電解水生成機にて行う ・シンクのハイター消毒 ・コップや蓋付きパッキンの消毒 ・日曜日はパイプマンにて水道管の消毒 ⑥コスト削減 ・残業の状況について ⑦勤務時間の変更 ⑧利用者関係 ・眠りスキャンの使用者の選択 ・サンファイバー
1フロア会議	R3.3.28	今泉副主任・澤岡 介護員・小岩介護 職員、山本CM、 宮脇介護員	①稼働率 ②次年度目標 ・入院者を減らす ・感染症を出さない ・皮膚トラブルの軽減 ・事故を減らす ③業務改善 ・食事介助者の増加を防ぐ ④業務分担 ・居室担当決め ・委員会・行事担当 ⑤人事評価について
2フロア会議	R3.1.13	瀧澤副主任・吉中 介護員・木下介護 員、基石介護員・ 石原介護員・近藤 介護員・土田CM	①稼働率について ②食事量が低下している利用者対応 ③感染症対策 ・換気の徹底 ・加湿 ・衣類調整 ・手洗い・うがいの徹底 ・爪切り ・通院時のルール確認 ・休日の外出についてルール確認 ④新規入所者居室検討 ⑤排便コントロール結果 ⑥事故・インシデント

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
2フロア会議	R3.2.15	瀧澤副主任・吉中 介護員・木下介護 員・近藤介護員・ 石原介護員・土田 CM	①稼働率について ②居室変更について ③前月取り組みの反省 ・感染予防(加湿、換気、清潔保持) ・排便コントロール(サンファイバー使用) ・陰部洗浄・足浴・清拭 ・PM足浴：秋山氏、穴戸氏 ④ヒヤリハット再発防止 ⑤フロアで出来る経費節減について ・ケアパット使用で紙ベース削減 ・残業の軽減 ・パットの見直し ⑥時間外確認
2フロア会議	R3.3.3	瀧澤副主任・吉中 介護員・木下介護 員・近藤介護員、 石原介護員・土田 CM・水元介護員	①稼働率について ②摂取量低下利用者について ③次年度の体制について
3フロア会議	R3.1.14	大路副主任・杉田 介護員・小岩介護 員・大野介護員・ 今CM・小玉介護 員・植木介護員	①フロア目標について ・入院者の減少 ・時間外について ・業務改善効率について ・コスト削減について ②利用者様対応 ③各フロア担当より(水分、口腔、排泄、通院、衛生) ④その他 ・自立支援について(排泄) ・カンファレンスについて ⑤業務改善効率について (1) コスト削減について (2) 時間外について
3フロア会議	R3.2.10	大路副主任・小岩 介護員・今CM・ 植木介護員・滝元 介護員・小玉介護	①フロア目標について ・入院者の減少 ・業務改善効率について ・コスト削減について ②利用者様対応 ③各フロア担当より(水分、口腔、排泄、通院、衛生) ④その他 ・自立支援について ・家族連絡について ・ipadの使用方法について
3フロア会議	R3.3.30	楠主任・滝元介護 員・丹介護員・今 CM・水上介護員	①フロア目標について (1) 入院者の減少 (2) 時間外について (3) 業務改善効率について ②来年度事業計画 ③各フロア担当より(水分、口腔、排泄、通院、衛生) ④次年度業務担当

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
4フロア会議	R3.1.15	辻副主任・首藤介 護員・古瀬介護 員・河西介護員	①フロア年間計画とフロア分析 事故・インシデント分析 ⇒ミーティング時のヒヤリの確認、再発防止策の入力について ②フロア業務について ・コスト削減について 紙パンツの使用枚数の軽減 ⇒利用者の対応について評価 ⇒節電についての評価 ☆時間外の削減について ③業務改善会議から ・職員の言葉遣い（対職員） ・技能実習生の振り返り ④他ご利用者様について ・渡邊氏の対応（居室、夜間帯について） ・1日の水分摂取状況
4フロア会議	R3.2.12	辻副主任・山本介 護員・古瀬介護 員・板橋介護員	①フロア年間計画とフロア分析 事故・インシデント分析 ⇒ミーティング時のヒヤリの確認、再発防止策の入力について ②フロア業務について ・コスト削減 ・節電について ・時間外の削減について

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
事故委員会	R2.1.5	河村管理者・高橋 管理者・平主任・ 高橋主任・楠主 任・今泉副主任・ 瀧澤副主任・辻副 主任・上郡施設長	①12月発生した事故・インシデントについて ・各フロアの事故・インシデント発生状況 ・再発防止策はできているか？ ・効果はでているか？ ○傾向と対策
事故委員会	R3.2.2	河村管理者・高橋 管理者・平主任・ 高橋主任・楠主 任・今泉副主任・ 瀧澤副主任・大路 副主任・辻副主 任・上郡施設長	①1月発生した事故・インシデントについて ②各フロアの事故・インシデント発生状況 ③再発防止策はできているか？ ④効果はでているか？ ⑤傾向と対策
事故委員会	R3.3.2	河村管理者・高橋 管理者・平主任・ 高橋主任・楠主 任・今泉副主任・ 瀧澤副主任・大路 副主任・辻副主 任・上郡施設長	①2月発生した事故・インシデントについて ②各フロアの事故・インシデント発生状況 ③再発防止策はできているか？ ④効果はでているか？ ⑤傾向と対策
感染症予防委員会	R3.1.5	高橋博代看護師・ 河村管理者・高橋 管理者・平主任・ 楠主任・今泉副主 任・瀧澤副主任・ 辻副主任・上郡施 設長	①インフルエンザ予防接種状況 ②加湿器の清掃 ③感染症用仕切りカーテン設置の継続 ④発熱者の隔離について ⑤インフルエンザ予防対策 ⑥コロナ予防対策・職員の行動について
感染症予防委員会	R3.2.2	高橋博代看護師・ 河村管理者・高橋 管理者・平主任・ 楠主任・今泉副主 任・瀧澤副主任・ 大路副主任・辻副 主任・上郡施設長	①施設内湿度の状況 ②コロナ予防策と職員の行動について ③嘔吐処理ロールプレイング ④家族への文書送付について

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染症予防委員会	R3.3.2	高橋博代看護師・河村管理者・高橋管理者・平主任・楠主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・辻副主任・上郡施設長	①感染症流行情報 ②かおる園配置医師について ③今年度反省 ④次年度反省 ⑤コロナ予防対策・職員の行動について共有する。 ⑥清掃時消毒について確認する。
褥瘡予防・医療的ケア委員会	R3.1.5	高橋博代看護師・河村管理者・高橋管理者・平主任・楠主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・辻副主任・上郡施設長	①各フロア皮膚トラブルの確認 ②改善に向けてケアの検討
褥瘡予防・医療的ケア委員会	R3.2.2	高橋博代看護師・河村管理者・高橋管理者・平主任・楠主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・辻副主任・上郡施設長	①各フロア皮膚トラブルの確認 ②内部研修⇒現場研修として入浴後のワセリン塗布状況の確認
褥瘡予防・医療的ケア委員会	R3.3.2	高橋博代看護師・河村管理者・高橋管理者・平主任・楠主任・今泉副主任・瀧澤副主任・大路副主任・辻副主任・上郡施設長	①各フロア皮膚トラブルの確認 ②改善に向けてケアの検討 ③今年度の反省
給食委員会	R3.1.12	楠主任・小杉山相談員・山下栄養士・田中マネージャー・宮脇介護員・石原介護員・滝元介護員	①1.食事内容について 喜ばれていたもの・改善が必要なものと改善案・食べたいもの 食べやすいもの・食べづらい食材と改善案食事内容について ②グリーンハウスから ③2.3月の食事が関係する行事・外出行事について ④配膳等の衛生面について ・エプロンの使用・洗濯の状況 ・配膳用手袋の使用状況 ⑤その他 ・日替わり茶について ・セレクトについて ・パンがゆについて ・配膳準備について
給食委員会	R3.2.9	楠主任・勝山管理栄養士・田中マネージャー・山下栄養士・小杉山相談員・石原介護員・滝元介護員・宮脇介護員	①1.食事内容について 喜ばれていたもの・改善が必要なものと改善案・食べたいもの 食べやすいもの・食べづらい食材と改善案食事内容について ②グリーンハウスから ③3月の食事が関係する行事・外出行事について ④献立表について ⑤その他 ・来月お茶会を予定

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
給食委員会	R3.3.9	高橋管理者・楠主任・勝山管理栄養士・山下管理栄養士・宮脇介護員・石原介護員	①1.食事内容について 喜ばれていたもの・改善が必要なものと改善案・食べたいもの 食べやすいもの・食べづらい食材と改善案食事内容について ②グリーンハウスから ③今年度の反省
自立支援介護委員会	R3.1.26	河村管理者・楠主任・平相談員・玉置機能訓練指導員・木明歯科衛生士・宮ノ原看護師・山下介護員・水上介護員・土井介護員	①事例作成について ②内部研修について ③1・2・3・4フロア選定者について
自立支援介護委員会	R3.2.23	河村管理者・楠主任・平主任・玉置機能訓練指導員・勝山管理栄養士・山下介護員・基石介護員水上介護員・土井介護員・宮ノ原看護師	①事例作成について ②1月の内部研修について ③各フロアの選定者報告と来月の選定者について ④摂食嚥下アセスメントについて ⑤歩行訓練について
衛生委員会	R3.1.19	河村管理者・楠主任・小杉山相談員・木明歯科衛生士・吉中介護員・澤岡介護員・古瀬介護員	①職場アンケート ②5Sの取り組み
衛生委員会	R3.2.16	河村管理者・楠主任・小杉山相談員・木明歯科衛生士・吉中介護員・澤岡介護員・古瀬介護員	①職場アンケート ・リフレッシュ休暇がほしい ・エアコンを設置してほしい ②今年度の反省 ③次年度の反省

令和2年度（1月～3月） 行事 事業所名：特別養護老人ホーム かおる園

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
お神酒廻り	R3.1.1	104名	ご利用者様：93名 職員：8名 実習生：1名
書初め会	R3.1.1	104名	ご利用者様：93名 職員：8名 実習生：1名
新年おみくじ会	R3.1.1	104名	ご利用者様：93名 職員：8名 実習生：1名
豆まき	R3.2.3	140名	ご利用者様：100名 職員：36名 実習生：4名
ランタン祭	R3.2.3	143名	ご利用者様：100名 職員：41名 実習生：2名
ミニ運動会2フロア	R3.2.17	32名	ご利用者様：22名 職員：9名 実習生：1名
ひな祭り	R3.3.2	34名	ご利用者様：25名 職員：8名 実習生：1名
軽運動・おやつレク	R3.3.25	34名	ご利用者様：23名 職員：10名 実習生：1名

(全体総括)

1月、2月と稼働が低迷したが、3月に入り利用定員枠拡大の効果が現れた。居宅からの急な相談や契約の対応など、スケジュールを縫い対応できたことで、虹、社協以外からの利用者を得られたことにつながったと考える。一度離れた居宅からの新規利用者獲得は困難であるため、一人一人のご利用者様を大切にサービス提供を行っていく必要がある。地域柄、4月以降も多くの利用が見込まれるため、特養、通所介護が協力体制を取り柔軟な体制で利用者対応を行っていく。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
(課題) 収入が安定して いなく、必要物 品の購入や行事 計画のため、稼 働率を上げる必 要がある	稼働率の向上	平均稼働率100%以上	1月 利用人数 71人/186 人 稼働率 38.1% 2月 利用人数 88人/180 人 稼働率 48.8% 3月 利用人数 161人 /186人 稼働率 86.5%	・施設での感染症対 策を利用者へ再周知 し、利用へつなげる ・新規利用者獲得の ため広報活動にも力 を入れる
(課題) 高齢になり本 人の健康意識 が低下してい る。また生活 をともにする 家族の介護力 として自宅で できる介護へ の助言ができ ていない	利用者、家族へ在宅 生活を続けられるた めの通り組みを実施	入院、入所による利 用終了者0名	入所による利用終了 者 5名	特養入所により短期 入所利用終了者が 多々見られるため、 在宅生活を続けてい けるサービス提供が 求められる。通所介 護と協力し、自宅で できる介護情報や サービス提供を計画 する。
(重点) 職員が「やり がい」や「楽 しみ」を持ち 働ける事業所 を創ります	①個別面談の実施 ②自分の思いを乗せ た担当制行事の実施	仕事満足度の向上	全員と実施	定期的な個別面談で 職場環境や業務内容 を把握しサービスに つなげていく必要が ある

【運営報告】

事業所名：短期入所生活介護かおる園

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		90	93	90	93	93	180	186	180	186	186	168	186	144
延利用人数	R1	96	112	93	84	86	106	86	90	61	60	74	117	89
	R2	85	129	103	86	83	96	123	89	48	59	88	161	96
稼働率	R1	106.6%	120.4%	103.3%	90.3%	92.4%	103.2%	92.4%	100.0%	65.5%	64.5%	88.0%	79.5%	92.2%
	R2	91.4%	138.7%	114.4%	92.4%	89.2%	53.3%	66.1%	49.4%	25.8%	31.7%	52.3%	86.6%	74.3%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	932	1,074	915	854	850	1,046	856	690	591	382	962	1,148	858
	R2	776	1,344	1,048	865	625	1,287	1,643	1,138	550	517	1,167	1,497	1,038
当期資金収支差額 (単位：千円)		-227	260	-344	-348	-442	342	726	18	-793	-518	75	-484	-145
職員数	正規	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	有期	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	パート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

(全体総括)

新型コロナウイルス、インフルエンザの感染症予防と冬季の体調不良に注意しサービス提供を行った1年であった。1年を通して感染症の流行もなく、職員の罹患もなかったこと感染症対策にたいして評価してよいと考えられる。
 一方で急激な認知症の進行や利用者と同居するご家族の意向で施設入所になり利用終了になられる方が頻発し、課題の残る1年となった。
 次年度の事業計画にもある様に安定した運営を図るためには利用者の健康管理が必須であり、同居しているご家族様も含め居宅介護支援事業所と協力したサービス提供が求められる。よって認知用や感染症、普段の生活で注意していただきたいポイント等、ご自宅でもできる介護予防サービスを展開していきたい

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
(課題) 収入が安定していなく、必要物品の購入や行事計画のため、稼働率を上げる必要がある。	稼働率の向上	平均稼働率96.1%	1月：稼働日20日 利用人数537人/600人 稼働率89.5% 2月：稼働日19日 利用人数533人/570人 稼働率93.5% 12月：稼働日23日 利用人数605人/690人 稼働率87.7%	2月～3月にかけて下記の内容で利用終了される方が頻発した。利用回数の調整や利用者に求められているサービス提供を引き出し提供する必要がある。
(課題) 高齢になり本人の健康意識が低下している。また生活をとにする家族の介護力として自宅でできる介護への助言ができていない。	利用者、家族へ在宅生活を続けられるための通り組みを実施	入院、入所による利用終了者0名	・施設入所者 5名 ・ご逝去 1名 ・利用終了 1名	老々介護や独居の方が在宅生活を続けていくことが困難になるケースが多く見られた
(重点) 職員が「やりがい」や「楽しさ」を持ち働ける事業所を創ります。	個別面談の実施	仕事満足度の向上	3月に全員と実施した	定期的に個別面談を実施し職場環境と業務内容について確認する必要がある
	自分の思いを乗せた担当制行事の実施		1/20に新年会を実施	感染症に注意し徐々に外出行事を行う予定

【運営報告】

事業所名： デイサービスセンターかおる園

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準人数		660	630	660	690	630	660	660	630	660	600	600	690	648
延利用人数	R1	509	537	485	561	508	516	581	511	530	512	518	516	524
	R2	519	516	574	596	553	589	600	543	581	537	533	605	562
稼働率	R1	77.1%	85.2%	73.5%	81.3%	80.6%	78.2%	88.0%	81.1%	80.3%	85.3%	86.3%	74.8%	81.0%
	R2	78.6%	81.9%	87.0%	86.4%	87.8%	89.2%	90.9%	86.2%	88.0%	89.5%	88.8%	87.7%	86.8%
事業活動収入計 (単位：千円)	R1	4,192	4,483	4,036	4,503	4,329	4,332	4,847	4,354	4,486	4,445	4,421	4,381	4,401
	R2	4,647	4,635	5,117	5,252	4,816	5,068	6,183	4,826	5,100	4,475	4,952	4,475	4,962
当期資金収支差額 (単位：千円)		1,275	958	37	1,183	1,008	1,402	2,086	885	-1,053	124	1,274	-5,468	309
職員数	正規	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0
	有期	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	2	2	2.9
	パート	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6.0

令和2年度（1月～3月） 行事 事業所名：デイサービスセンター かおる園

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
新年お楽しみ会	R3.1.20	職員9名 利用者25名程	当日勤務者 当日利用者

行事予定（4月～6月）

行事名	開催日	参加人数	参加者